

お天気のいいある日、お弁当を持って森に出かけた3人。
 「うーん、やっぱり空気がおいしいわね」
 「でもさ、何かちょっと森があれてない？」
 「そういえば動物たちの姿も見えないわ」
 「僕たちの星に何が起きているんだらう？」
 大好きな動物たちに会えずりくちゃんが泣きだしちゃいました。

放置された森林で山崩れがおこっているよ。

注意 5

「ボクのお友だちのどうぶつしゃんがいなくなっちゃいました〜」動物たちはどこに引っ越しちゃったの？」

注意 6

注意 5

木は生い茂り、日の光が届かず森の中は真っ暗闇。中には根本の主がなくなり、根がむきだしになった木もあるよ。

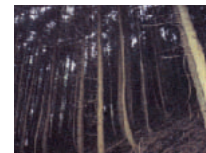
誰がそんな所にゴミをすてたの？ いやなににおいがするな。それに汚ない水が出て、土や川の中にしみこんでいるよ。

注意 7

注意 5

森林の持つすぐれた役割を守ろう！

愛媛県の面積の約70%は森林が占めています。森林は木材など人間の生活に必要な材料を提供してくれるだけでなく、「緑のダム」として水資源をたくわえたり、山崩れなどの災害を防ぐ役目があります。でも最近では林業に就く人が減ってきて、スギやヒノキの人工林では手入れされていない状態が増えてい



日があたらず真っ暗な放置森林

ます。そのため森林の持つすぐれた働きも失われてきています。こうした放置森林は愛媛県で平成12年度現在で6万3,000ha(ヘクタール)にもなります。そこで(財)愛媛の森林基金が、放置森林の整備を主体とした様々な事業に取り組んでいます。

注意 6

野生動物の姿が消えてしまうかも…

地球上には約175万種の生き物が住んでいます。しかし、森林の減少や汚染による自然環境の破壊、乱獲などにより、さまざまな野生動物が減っています。日本においても、都市化にともなう生息環境の悪化などが原因で多くの動植物が姿を消しています。

現在、日本で絶滅のおそれのある野生動植物は、平成13年7月までに国が発表したレッドリストに2,663種があげられています。私たちの愛媛県でもニホンカワウソ、カブトガニ、エヒメアヤメなど1,501種(平成13年度時点)が、絶滅のおそれのある動植物としてあげられています。これらの種の絶滅を防ぐことは緊急の課題です。そこで愛媛県では、現在絶滅のおそれがある野生動植物をリストアップし、生息・生育状況などを調べて、「愛媛県版レッドデータブック」を作成しています。



絶滅のおそれのあるカブトガニ

注意 7

ゴミをどこにでも捨てるとどうなるの？

会社や工場などから出る大量の産業廃棄物を、山の中などに勝手に捨ててしまう不法投棄が問題になっています。このゴミから流れ出た汚れた水が川に流れたり、ゴミに含まれる汚染物質が土に染み込むと、動植物が生息しにくい悪い環境になってしまいます。愛媛県ではゴミをきちんと処理し、不法投棄をなくすための調査や監視、指導を行っています。

■愛媛県の不法投棄の現状(1件当たり10t以上の産業廃棄物)

平成11年度	13件
平成12年度	17件
平成13年度	12件